

鈴木知事の北方領土問題に関する要請について

令和4年1月12日、鈴木知事は林外務大臣及び西銘北方対策担当大臣に対し、万全な感染症対策の下での四島交流等事業の早期再開などに関する要請を行いました。
また、お預かりしてきた千島歯舞諸島居住者連盟の要望書をあわせて両大臣にお渡ししました。

1 要請の概要

- 元島民の皆様も、平均年齢が86歳を超え猶予のない状況にある中で、2年続けて、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて重要な四島交流等事業の実施が見送られていることから、四島交流等事業の早期再開を求めるとともに、道が実施団体と策定した感染症安全対策マニュアルを提案し、国において安全対策の指針などを示していただけるよう林外務大臣と西銘北方対策担当大臣に対して要請を実施しました。
- 特に今回は、四島にある墓地の現状調査や破損した標柱の修復、墓地までの安全なルート確保など人道的見地から墓地の環境整備について両大臣に強く要請しました。



林外務大臣及び鈴木外務副大臣へ要請



西銘北方対策担当大臣へ要請

2 林外務大臣・西銘北方対策担当大臣からの返答

- 両大臣から、四島交流等事業については、可能な限り万全な感染症対策を講じ、早期再開に向けて取り組むとともに、墓地整備については、人道的見地から取り組んでいきたい旨の発言がありました。
- 林外務大臣からは、「標柱の破損の放置などは、元島民の方々の心が折れてしまう」との懸念のご発言がありました。
- 西銘北方対策担当大臣からは、安全対策の指針などに基づく実施検証などについて、春先には、四島交流専用船「えとぴりか」を根室に回航して、何とか実施できないか考えていく旨の意向が示されました。

(外務大臣への要請)

日時：令和4年1月12日(水) 午後
場所：外務省 4F 大臣接見室
政府出席者：
外務大臣 林 芳正
外務副大臣 鈴木 貴子
外務省欧州局長 宇山 秀樹
外務省欧州局ロシア課長 山田 欣幸
要請者：北海道知事 鈴木 直道
(臨席) 参議院議員 鈴木 宗男

(北方対策担当大臣への要請)

日時：令和4年1月12日(水) 午後
場所：内閣府 8号館11階 西銘大臣室
政府出席者：
内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策) 西銘 恒三郎
内閣府北方対策本部審議官 伊藤 信
内閣府北方対策本部参事官 中嶋 護
要請者：北海道知事 鈴木 直道
(臨席) 参議院議員 鈴木 宗男